

2024 年度研究発表会の開催と論文募集のお知らせ

2024 年度の研究発表会を下記の要領で開催いたしますので、論文発表をご希望の方はご応募ください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。発表申し込みは学会ウェブサイト上の「投稿申し込み専用フォーム」より行っていただきます。また、参加申し込みは、事前申し込み・事前支払いを実施します。詳しくは学会ウェブサイトに掲載しますので、ご確認ください。なお、例年研究発表会は、木曜日、金曜日の2日間で開催していましたが、今年度の研究発表会は水曜日午後から金曜日の、2日半での開催を予定しています。

期 日：2024 年 10 月 9 日（水）研究発表会
アースサロン／キャリアデザインセミナー（ダイバーシティ推進委員会）
若手交流会（事業企画委員会）
10 月 10 日（木）研究発表会、特別講演
意見交換会（会場：栗林公園内、商工奨励館を予定）
10 月 11 日（金）研究発表会
10 月 12 日（土）見学会（小豆島コース、三好コースを予定）
上記の他に、アウトリーチイベント「高松城下防災まち歩き」の開催を予定しています。
※イベントの詳細については、学会誌 6 月号および学会ホームページに後日掲載いたします。

会 場：レクザムホール（香川県県民ホール、〒760-0030 香川県高松市玉藻町 9-10）およびオンラインのハイブリッド開催を予定（Zoom を使用予定）

協賛（予定）：一般社団法人全国地質調査業協会連合会
中国地質調査業協会
一般社団法人四国地質調査業協会

後 援：香川大学創造工学部

共催（予定）：特別セッション「理学と工学の融合における都市開発と応用地質学会のこれから Part2」を公益社団法人地盤工学会と共催予定

応募締め切り：2024 年 5 月 20 日（月）

申し込み方法：・原則として学会ウェブサイト研究発表会のページの「投稿申し込み専用フォーム」よりお申し込みください。
・申し込み方法の詳細は、「投稿申し込み専用フォーム」に掲載しますので、記入方法や注意事項をよく読んで申し込みを行って下さい。
・論文発表は 1 人 1 編*とし、講演者は学会員であることとします。なお、申し込み時に非会員の場合は、下記の講演論文原稿の提出期限（8 月 23 日）までに会員登録手続きを済ませてください。
* 特別セッション 5「令和 6 年能登半島地震災害調査団報告」の講演者は、他のセッションでの論文発表（1 編）が可能です。ただし、コアタイムが重複するため、2 編ともポスター発表とすることはできません。

特別セッション：2024 年度の研究発表会では、以下の 5 件の特別セッションを設定いたします。

特別セッション 1「火山地域の応用地質」

提案者：太田岳洋（山口大学）・小坂英輝（株式会社環境地質）

趣 旨：火山地域における応用地質学的諸問題に関する研究小委員会では、調査法、長期的噴火予測、火山防災、建設、地下水・環境、資源・エネルギー、市民活動の観点から、応用地質学的な課題について、それぞれの分野固有の課題や複数の分野で共通する課題を抽出した結果、いくつかの共通課題が抽出でき、特に 1) UAV 等の新技術の適用、と 2) 熱水変質現象の理解、が多くの分野での共通課題として挙げられた。そこで本セッションでは、上記 2 テーマを中心に幅広く火山に関わる応用地質の問題に関する講演を募集し、議論する場を設けたい。

特別セッション 2「アジア地域の自然災害に継続的にかかわる応用地質の将来 ～ジオハザードとオーブ

ンデータへの期待～」（口頭発表のみ、**講演者の募集なし**）

提案者：長谷川信介（応用地質株式会社）、菊地輝行（公立諏訪東京理科大学）、野々村敦子（香川大学）、山崎新太郎（京都大学）

趣 旨：世界各国で多発する自然災害への対応のために、ジオハザード評価の高度化と、ジオハザード情報の利活用の促進が課題となっている。特に、近年はジオハザード情報としてオープンデータ、ビッグデータやDXは世界で着目され、存在感が高まっている。一般市民には、これらの貴重な情報の見方や共有する方法を理解できるような啓蒙活動を行うことも学会（産官学）としては必要である。そこで本セッションでは、ジオハザード、オープンデータの整備・活用状況の各国の現状を報告するとともに将来的な活路を見出す事例や情報を紹介する。アジア地域での応用地質の貢献とともに、応用地質学と情報技術など、他分野との連携についての情報を共有することが重要と考える。なお、本セッションでは海外の研究者の招待講演を予定しております。

特別セッション3「理学と工学の融合における都市開発と応用地質学会のこれから Part2」

（口頭発表のみ、**講演者の募集なし**）

提案者：北田奈緒子（一般財団法人GRI財団）

趣 旨：R4年にまとめられた地盤工学会における提言の報告を昨年度の研究発表会で行い、次年度も実施することについて多数の賛同を得ましたので、再度セッションを行います。本セッションでは、地盤工学会の関係者も迎えてディスカッションを行います。また、応用地質学会関係者からも今後の学会の在り方について、ご意見くださっている会員の方に登壇いただいて意見交換を行う予定です。議論の内容は、どのように地質調査より明らかになった地質リスクを情報共有するのか、どのような教育や取組みが相互理解に有効かという事について議論いたします。

特別セッション4「自然災害伝承碑から解き明かす地域災害」（口頭発表のみ、**講演者の募集なし**）

提案者：災害地質研究部会 稲垣秀輝（株式会社環境地質）、千田敬二（株式会社八州）

趣 旨：災害地質研究部会では、国土地理院と連携して自然災害伝承碑に関する研究を続けてきた。これらの成果を踏まえて、地域災害の特徴と自然災害の市民へのアウトリーチのやり方を会員の方々と討議したい。

特別セッション5「令和6年能登半島地震災害調査団報告」（**講演者の募集なし**）

提案者：大谷具幸（岐阜大学：調査団団長）、稲垣秀輝（株式会社環境地質：調査団副団長）、小俣雅志（株式会社パスコ：調査団幹事長）、太田岳洋（山口大学：調査団副幹事長）

趣 旨：令和6年能登半島地震の発生を受けて関係研究部会、関係支部のメンバーを中心に災害調査団を設立し現地調査を進めている。この現況報告を団員から発表し、討論を行い、広く会員からの意見をいただくことにより、調査団報告書作成の参考とすることを目的とする。

発表希望分野：常設セッションおよび特別セッション1での発表を希望される方は、第1希望、第2希望のセッションを、特別セッション1および下記の常設セッションからお選びください。プログラム作成時の参考にいたします。

〔常設セッション〕

「災害地質」、「土木地質」、「測量・計測」、「地下水」、「環境地質」、「地形・地質一般」、「地層処分」、「社会貢献」

特別セッション2～5で発表予定の方は、該当する特別セッションを第1希望と第2希望にお選びください。なお、**特別セッション2～5の講演者は、提案者により人選いたしますので、発表の募集はいたしません。**

受付の確認：申し込み受付は**投稿申し込み専用フォーム**から申し込み内容が正しく送信された時点で受領とします。正しく送信が行われた場合、**連絡担当者宛にフォームへの記入が完了したことを知らせるメールが送信されます**ので、メールの着信を必ずご確認ください。メールは Google フォーム（forms-receipts-noreply@google.com）より配信されます。

発表形式：申し込み時に、「口頭発表」もしくは「ポスター発表」の希望を選択していただきます。なお、十分な討

論時間を確保するため、会場スペースの都合等の理由により、発表形式の変更をお願いする場合があります。あらかじめご了承ください。

論文の採否：論文発表の採否、発表形式の決定は、当学会事業企画委員会にご一任いただきます。その結果を6月下旬までにお知らせし、原稿執筆の依頼をいたします。内容については、新規性・公平性のあるものとし、特定の技術等の宣伝と判断される場合などは、不採用とすることもありますのでご注意ください。

発表方法：[口頭発表]

口頭発表はパワーポイントと Zoom（予定）を用いた発表方式とします。会場では Zoom で共有された発表スライドを、液晶プロジェクタで投影します。発表者は原則会場での発表をお願いいたします。口頭発表の持ち時間は、発表時間 12 分、質疑応答 3 分の計 15 分を予定しております。なお、発表数が多い場合には、発表時間等の短縮を行う場合がありますので、予めご了解ください。

[ポスター発表]

ポスター発表には、会場にポスター用のパネル（各発表者 1 枚、A0 サイズを予定）を用意いたします。活発な討論のために発表時間帯（コアタイム）を設定いたします。発表者は会場での発表をお願いいたします。

表彰制度：口頭発表およびポスター発表について、表彰制度を設けます。口頭発表の表彰は、45 歳以下の発表者が対象となります。ポスター発表の表彰については、年齢制限はありません。

参加申し込み：学会ウェブサイト上での事前参加申し込みを、2024 年 9 月に開始予定です。参加申し込みは原則、事前申し込みと参加登録料の事前支払いとします。なお、研究発表会に参加される方は全員、参加登録料が必要になります。講演者の事前支払いが確認できない場合には、発表取り消しとして取り扱われる場合があります。参加申し込みの際には、「現地参加」もしくは「オンライン参加」のご予定を確認させていただきます。なお「オンライン参加」の場合は、ポスターセッションには参加できません。あらかじめご了承ください。

参加申し込みをされた方には、講演論文集（電子ファイル）を事前に配布いたします。配布方法は研究発表会参加者用のウェブサイトから、ダウンロードしていただく方を予定しています。配布時期は 9 月末を予定しています。

参加登録料（予定）：参加登録料金には講演論文集（電子ファイル）のダウンロード権が含まれます。

正会員	8,000 円	非会員	10,000 円
学生会員	1,000 円	非会員学生	3,000 円

発表論文：口頭発表およびポスターセッションともに、当学会所定の原稿執筆要領に従った講演論文集原稿の PDF ファイルを電子投稿システムにより提出していただきます。電子投稿システムにつきましては、学会ウェブサイト内で追ってお知らせいたします。原稿は A4 版、和文または英文 2 ページとします。和文の場合は英文表題が必要です。詳細は、6 月下旬までに学会ウェブサイト上に公開する、「原稿作成要領」および「原稿フォーマット」を確認してください。

原稿提出期限：2024 年 8 月 23 日（金）

※研究発表会の情報は、Facebook、学会ニューズリストでもお知らせいたします。